

2012 年 1 月 2012 初詣サイクリング

基本データ

クラブラン実施日	2012 年 1 月 15 日(日)
クラブラン名称	2012 初詣サイクリング
コース概略	サポートセンター⇒(栗田谷)⇒六角橋⇒(白幡上町)⇒新子安⇒総持寺 (約 9.5 km)
集合場所	サポートセンター
クラブラン担当者	M 山
レポート担当者	M 山
参加者	H 本、W 辺、O 寺、F 本、T 本、Y 野、O 湖、H 立、S 賀、O 橋、T 桑夫妻、 S 原夫妻、S 石夫妻、M 山 17 名
天候	曇り、寒い。風がなくてよかった。

レポート本文

8:30 ほぼ時間通りにサポセンに着くと誰も見当たらず 1 番かと思いきや、暖かい館内から Y 野さんが出迎えてくれた。自転車は地下の駐車場に入れるようにアドバイス頂く。確かにあたりには駐輪禁止と書いてあるので素直に従う。でも、後で聞いた話では館内に車椅子があったから自転車も OK かと思い、持ち込んだところ、地下に停めるように言われたとのこと。そりゃそうだと思いますよ、

9:00 サポセン出発組は W 辺、T 本、Y 野、O 橋、M 山の 5 名。総持寺まで 9 キロ程だが、できるだけ国道を避けるルート进行。もうかれこれ 30 年前の学生時代に良く登った大学近くの栗田谷を登ってみる。これも昔は栗田谷峠とどこかに書かれていた記憶がある。今となっては街中の単なる坂道だが、久し振りに登れて懐かしい。

さて、大学を通り過ぎて六角橋に出て、ルートでは東横線を横切り、山を登って大口方面を目指す。この境界は昔自転車によく走ったのに今回の大口方面へ向かう道は走ったことがなかった。そんなこともあり、上り口を間違えて 1 本先の小道から登ったところ、栗田谷の比ではないとんでもない急勾配。早々にギブアップして押しに入る。あ〜あ、新年早々に押しちゃった。

登りがきつかった分、気持ちよく下り大口付近で JR を横切る。さらに新子安の交差点で 1 号線を横切って東海道線沿いの道を行く。車も少なくなかなか走りやすい道だ。

9:40 ほどなく総持寺入口に到着。本日はお寺の部屋を借りて食事の予定なので、各自の昼ごはんを、もう少し先のコンビニで調達。買物を終えて出てきたとこ

ろで S 石夫妻が手を振りながら通り過ぎたので、ちょっと慌てて後を追う。
総持寺参道を上り、集合場所の駐車場に到着10:00。

T 桑さんが出迎えてくれ、受付を済まして今年最初の KCA スタンプを頂く。
今年は何個集まるかな？ 他クラブも集まってきている中、S 石婦人が乗ってきた新車 BIKEFRIDAY に人だかり。独特の輪行方法で畳んでからフレームに装着してあるカバーをかぶせ、取手状になったフレームを持って転がせるという優れもの。こんな感じで輪行して、とわざわざ輪行して見せて頂き、ギャラリで集まった面々がへーと感嘆の声をあげて盛り上がり。

さて、じゃあ走れる状態に戻しましょうというところで何故か元に戻らず、ご本人も？？？ それからよってたかって喧々諤々。こうに違いないと樹脂のタイヤレバーでフレームに傷つけないよう梃子を効かせて、ようやくロックが外れて元通りになり、めでたし。

11:00 3班に分かれて諸堂拝観に参加する。修行僧の方の説明を聞きながら境内を一周するようなコースが組まれている。総持寺はもと能登にあったこと、昨年ちょうど100周年を迎えたとのこと。日本一の広さという大きな本堂ではたくさんの僧侶のお経が響き、壮言な雰囲気。本堂地下ロビーの写真展を見学後、修行僧の宿泊している堂の説明を聞いていたところで太鼓の音が響いた。するとこの寒さのなか、修行僧が素足で駆け出して来て廊下の雑巾がけを始めるではないですか！ 真剣な修行の姿を目の当たりにすると、ただただ頭が下がります。



12:00 廊下の途中で見える仏殿を拝み、修行僧が磨いた160mもの廊下を歩いて終端に差し掛かると、説明してくれていた修行僧が廊下から一段下りて、今歩いてきた廊下を手で撫でてみて下さいという。

今、歩いてきた廊下を振り返ると、ところどころ光沢を感じるほど光っており、実際に手で撫でてみるその滑らかさに驚く。毎日2回、修行僧の素足による雑巾がけの成せる業かに関心する。



12:20 境内一周の修行？が終わり、部屋に案内される。修行僧には遥かに及ばないが冷氣の中、見学しながらゆっくり歩いてきたのでかなり寒かった。ここで頂いた一杯の温かいお茶は何にも代えがたくありがたい。

その後、個々のお弁当を広げて昼食をとったあと、今年のイベントの表彰、恒例のクラブの賀詞交換と進んだ。例年は寒さに震えながら屋外で行われていたが、今年は暖かい部屋の中での進行なのでうれしい。





- 14:00 記念写真をとって解散。その後、裕次郎さんのお墓があるということで参拝する。大スターのお墓には今も絶え間なく花と線香が供えられており、墓守と思しき人までいて驚いた。その後、新年会へ繰り出すメンバと別れて自走で帰宅16:00でした。
- 今年一年、無事に過ごせますように。 参加された方はお疲れ様でした。